—No.5—

わたしたちのクラブ

踏親会

仲がよく、息ピッタリ

「わたしたちのクラブの自慢はとても仲がよく、息がピッタリ、ということかな」と、会長の山崎敏英さん（新谷・63歳）。

昭和五十八年、「みんなでダンスを楽しみたい」と、ダンス好きの夫婦が集まって結成。その名も〝踏親会〟としました。

現在二十六人の会員が、毎週水曜日の夜七時半から九時半まで、公民館の講堂で練習をしています。「ご覧のとおり、会員は女性が大半です。だから、男性の入会（会費は月千円）は大歓迎です。ほかのクラブでは、女性が多いというと、うらやましく見えるむきもあるかも知れませんが、ご存じのとおり、ダンスは男女ペアで踊るものですから、本来はペアが理想ですね」と会長の山崎さん。

また、「ダンスは見た目はむずかしい、と思われているようですが、基本さえマスターすればどんな曲にもついていけます。そりゃ、ダンスといっても、ワルツやブルース・ジルバ・タンゴ・サンバ・ルンバなど多種多様。でも覚え始めると、これが楽しくて楽しくてどうしようもなくなってきますよ」とダンスの楽しさを語る。さらに幹事役の団原敬さんも「ダンスの特典？は、そりゃ、なんといっても知らない人とでも気軽に踊れ、コミュニケーションできることではないですか。そのうえ、ただ単に曲に合わせて踊っているようですが、これが以外とハードな動きのため、一曲踊っただけでも汗びっしょりになりますよ。だから以外と健康的なのではないでしょうか」とダンスの効用を話す。

ところで会員のみなさんは本当に熱心です。練習日には仕事よりもダンスの方が優先？とか、習ったステップは、家でも練習するといった熱心さ。この熱心さが実り、みなさん上達のスピードはヤングなみとか。「ただ岩室村はまだまだ愛好者が少ないようです。特に男性のかたがもっとやってくれると、よその町村のようにダンス熱も盛り上がると思います。また、施設面もちょっと不十分ですね。それは女性の人がびょうのついたシューズで踊るため、床がそれに合ったものでないと…」と三十歳代の愛好者不足と施設の物足りなさを話す山崎さん。「でも、将来は他町村と交流して大ダンスパーティをやってみたいですね」と夢膨らむ踏親会。あなたも〝壁の花〟からの脱出、いかがですか。

〔会員の声〕山崎敏英さん…ワルツ・タンゴ・キューパルンバ——ひとつひとつ覚えて踊れるようになると、その楽しさは格別ですね。自分の世界が広がったような感じで、もう毎日が充実です。特にルンバは踊っても、見てもきれいで最高ですね。これからは若い男性がもっと入会してくれて、村内で本格的なパーティができれば文句ありませんね。

クラブの自慢は仲がよく、息がピッタリという踏親会のみなさん（9月16日）

言葉の履歴書 ⑥⑤

秋波・秋扇

女性のこびを表す目つきのことを漢語的表現で「秋波を送る」といいます。「秋波」は、もともと秋のきれいに澄んだ波のことですが、転じて女性の涼しく美しい目つきをさすようになりました。

色っぽい流し目が波のように寄せてくるのを感じたとき、相手の男性は「秋波を浴びせられた」という印象を持ったわけです。

「秋波」と同様に「秋扇」という言葉も女性と深い関係があります。

扇子は、暑いうちは重宝がられるのに、涼しい風が吹くころにはいらなくなります。使われなくなった秋の扇という元の意味から、この言葉は捨てられた女のたとえに転用されました。

「秋扇」のそうした用法は、中国の前漢の時代に皇帝の成帝にもっとも愛された班女という美人が、ライバルにその座を奪われたとき、わが身を秋の扇になぞらえて嘆いた故事によるものです。

いったん「秋扇」の身の上となっては、いくら「秋波」を送っても、もう手遅れでしょう。

暮らしの健康

新・シリーズ(7)

文責／保健婦

ふえてきた乳ガン

乳ガンはいま、もっとも増えている女性のガンです。

これまで、日本人の乳ガンは比較的若い女性に多いのが特徴でしたが、これからは欧米諸国と同じように閉経後の女性にグンと多くなるものと予想されています。このような著しい増加の背景には、やはり食生活や生活習慣の欧米化といった問題があります。

とくに危険因子としては、❶**年齢**…四十歳代がピーク ❷**結婚**…独身・初婚年齢が遅い ❸**出産**…未産者・高年初産者 ❹**月経**…早い初潮・遅い閉経 ❺**栄養状態**…高い脂肪分の取り過ぎと肉食嗜好 ❻**その他**…家族に乳ガンの人がいる——などが報告されています。

しかし、なんといっても、第一の危険因子は、三十五歳を過ぎること、つまり加齢ですね。三十五歳を過ぎると、女性であれば、だれでも乳ガンの候補生になるものと考えてほしいですね。

30代になったら検診を

近ごろは、子宮ガンの集団検診と同じように、乳ガンの集団検診も多くなってきました。

三十五歳を過ぎたら、少なくても一年に一回は、こういう機会を利用して検診を受けてください。

早期発見の決め手

集団検診や病院での検査後、「異常なし」と判定されても、決して安心はできません。早期発見の決め手は、なんといっても月一回、定期的に行う（自己検診）ですね。専門医（外科医）による検診と自分でチェックする自己検診の両方を定期にしかも続けてすることが大切です。

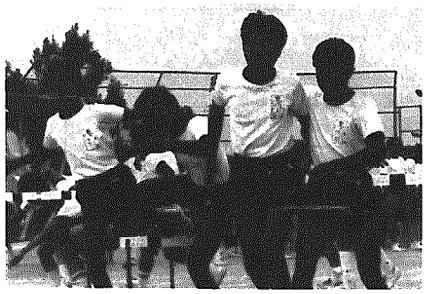
ひざづめで相談会を

村でもみなさんのお役に立ちたい、と今月十二日、櫛谷巻保健所長を講師に「乳房相談会」を保健センターで開きます。地区の保健委員のみなさんから参加希望をとってもらいましたが、多数のかたの参加をお待ちしています。

定期外レントゲン検診

■仕事の都合で、今年のレントゲン検診をうけられなかったみなさんのため追加のレントゲン検診があります。

期日	会場	時間
10月26日(月)	石瀬公会堂	午前9：30～10：00
	岩室公会堂	午前10：30～12：00
	間瀬地区公民館	午後1：30～2：30
10月27日(火)	役場保健センター	午前8：30～12：00



（今月は62年8月21日から9月20日までに届出を済まされたものです。）

おめでたおくやみ

うぶごえ（出生）

あかちゃん	誕生月日	保護者	住所
大越光留	8.14	久夫	和9
田辺祐輝	8.16	松夫	西船越
鈴木優子	8.21	茂	石瀬
阿部竜巳	8.28	敏郎	高畑
三冨奈津季	8.31	重信	栄
小川公裕	9.7	公文	西船越
中野優	9.9	修	和6
髙橋愛未	9.11	鈴秋	間5

おめでた（結婚）

結婚した人	前住所	新住所
稲吉哲也	和8	和8
（内藤）由紀子	巻町	

おくやみ（死亡）

氏名	年齢	死亡月日	世帯主	住所
山上匡	(71)	8.22	忠男	夏井
山上タイ	(41)	8.22	勇	夏井
寶賀越亥	(76)	8.25	イセ	間2
小野光弘	(54)	8.28	敏浩	和12
佐藤清一郎	(81)	9.3	清一	南谷内
山岸忠七	(90)	9.6	忠	夏井
小川ハツ	(59)	9.14	弘	新谷
月岡六蔵	(86)	9.19	信一	津雲田

（敬称略）

■訂正…先号のおくやみ欄で、和納8区、小川ナミさん（66歳）とあるのは、小川十三さんの誤りでした。お詫びして訂正いたします。